

久留米の柿

久留米大学留学生別科

けやき組 223ZI01

陳 思文

1. はじめに

私は 2023 年 9 月に台湾から久留米に来た。そして、現在、久留米大学で交換留学生として日本語を勉強している。私が住んでいる久留米は静かで、空気がいいところだ。また、久留米独自のおいしい日本料理が多くある。例えば、久留米ラーメンや焼き鳥があり、台湾にはない味と日本の独特な雰囲気が好きだ。

今回、修了レポートで「久留米の柿」を調べることにした。なぜそれを選んだかということ 2023 年 11 月に行われた柿狩りのイベントに参加し、久留米の柿に大変興味を持ったからだ。特に台湾の柿との違いが非常に気になった。なぜ日本の柿には種があるのか。おいしい柿の見分け方はあるのだろうか。こういった疑問が頭の中に浮かび、調べようと思った。台湾にいるときから柿を食べるのが好きなこともあり、「久留米の柿」について調べ、インタビューを行った。

2. 背景

調査となる場所は「野菜・くだものいいだ」という八百屋と「右田果樹園」の二か所である。「右田果樹園」は久留米大学前バス停から 25 番のバスで、西鉄バスの森山駅で降りて、徒歩 4 分のところにある。「野菜・くだものいいだ」は久留米大学から歩いて 15 分で着く。入場料は右田農園の柿狩り費用のみで、500 円かかる。

JA くるめかきのホームページによると、久留米の柿の品種は「西村早生、早秋、太秋、松本早生富有、冷蔵柿」がある。それらの収穫量は毎年約 500 トンに達する。収穫時期は毎年 9 月から 12 月までである。したがって毎年の柿狩りは同じ時期に行われる。久留米の柿の特徴は耳納山麓の斜面で、赤土で育てられたためその甘さがある。いのうえ農園によると柿は

免疫力を高める効果があり、それだけではなく柿のビタミンCの含有量は蜜柑の二倍もあるとのことである。その故免疫力を上げ、風邪をひきにくくする効果があり、なにより柿一つで一日必要なビタミンCが取り入れることができる。

久留米の高級柿「秋王」は糖度が20度以上もある果物で、一個で数千円もする。「秋王」は400万年をかけて形成した耳納連山で育てられ、その自然環境はフランスがワインを生産する地域との環境が似ていると言われている。右田果樹園のホームページによると近年、久留米の柿の農園で柿狩りを観光客に楽しめる方法として行っているところが多くなっている。観光客を引き寄せるため、柿の試食を行ったり、ピザを作ったりなど様々なイベントが行われている。このレポートを機に多くの人に久留米の柿を知ってもらいたい。

3. インタビュー

2024年1月5日に「野菜・くだものいいだ」にインタビューの予約をするために電話をかけたものの、店主が忙しいためインタビューできなかった。そこで、1月11日に「右田果樹園」の三代目営業部長右田英嗣さんにインタビューした。

質問1:

久留米柿の品種は「西村早生、早秋、太秋、松本早生富有、冷蔵柿」があります。品種改良によってこのような多くの種類が生まれたようですが、柿の品種改良を始めたのはどうしてですか。

答え1:

右田果樹園自体は品種改良をしていません。基本的に品種改良は国や県などがしています。

「西村早生、松本早生富有、冷蔵柿」などは突然変異で自然に近いようなかたちで生まれたものが元々のルーツで、昔の人が栽培でどんどん増やしました。それから時代に合わせて、例えば、葡萄はシャインマスカットなどが品種改良で作っています。この早秋や太秋も同じで、それを生産者が苗木を購入して、植えています。

質問 2 :

久留米の柿の生産量は果物の中のランクは県内一位です。なぜ県内一位になれたのでしょうか。

答え 2 :

果樹は苗木を植えます。それを植栽といいます。柿の木になる元の若木、その苗木を作っている人が久留米にたくさんいて、生産地でもあります。苗木の生産も柿だけではなくて蜜柑などのくだものが久留米、この田主丸が日本一位です。したがってその苗木が生産されているのでその流れで早く広まります。あと、柿の生産の環境、自然の気温や土などが適しています。山の麓ということも柿が育ちやすい環境が整っているのも理由の一つです。

質問 3 :

柿を植えるときや育てるときに注意する点は何かありますか。

答え 3 :

それは最初に植えるときで、根がすごく少ないので水やりや乾燥です。今温暖化で夏が暑い
ため、乾燥して、水不足になって枯れないように気をつけています。枯れないように水やり
を小まめにして、土が乾かないように気を付けています。

質問 4 :

なぜ柿の栽培を始めましたか。

答え 4 :

私はこの右田果樹園と観光農園の三代目なんです。でも栽培自体は私の曾祖父から始めて、
樹齢百年になる木もあります。歴史があり、私もここで生まれ育ち、それを継承する流れに
なりました。

質問 5 :

柿狩りに参加する人は毎年どれぐらいですか。外国人はいますか。

答え 5 :

毎年 5000 人から 6000 人ぐらいです。10 月、11 月の 2 ヶ月でそのうちの 1 割ぐらいが外国の方です。コロナの時は全く来ていませんでしたが、コロナの前と去年コロナが明けて、今はもっと増えています。外国人の方もいます。

質問 6 :

コロナでキャンセルになった柿のイベントが多くあると思います。その中で一番残念に思うことは何ですか。

答え 6 :

お客さんが実際に観光で体験できるいい機会なんですが、コロナで、柿狩りや食育体験などができませんでした。僕たちはいろんな対策をとって安全だといっても、やはりお客さんとの関係がコロナで難しく、なかなかできなかったこともありました。人との触れ合いが減ったことが一番残念なことです。

質問 7 :

コロナの前後で柿の収穫量は変わりましたか。もし変わったなら、その理由を教えてください。

答え 7 :

収穫量は変わっていません。コロナで植物には特に影響はなかったので、販売は柿狩りなどの団体のバスで来るお客様が減ったため、販売額は少し減ったりはしました。

インタビューするのもはじめてだったので、非常に緊張したが、右田氏に一問一答丁寧に回答していただき、インタビューは順調に進んだ。久留米の人のやさしさも知った。インタビューをする際に最も注意することは事前に相手に連絡を取ることだと思った。失礼のない

ように事前に連絡を取り、インタビュー先の都合の良い時間に訪問することが大事だと思った。

4. 考察および提案

インタビューをする前に柿について興味はあったが、調べる機会がなかったため、このインタビューで柿の品種や生産量などについて知ることができた。「西村早生、松本早生富有、冷蔵柿」などの柿の種類は自然で生まれた品種だと分かった。久留米の柿の生産量は県内一位の理由は久留米の土地と環境にある。柿を植えるとき水やりに注意して育てるなどもインタビューしなければわからない点だった。毎年恒例の柿狩りは日本人だけではなく外国人もいるが、わずか一割しかいないとのことだった。外国人の客を増やしたいならまずは SNS の宣伝をし始め、園内のホームページにも日本語以外の多言語に対応し、外国人観光客が訪れやすい環境を作ってもいいのではないだろうか。

5. まとめ

このレポートで久留米の柿について調べ、詳しく知ることができた。特に柿の効能がこれほどあるとは全く知らなかった。今まで、柿の性能を知らずに食べていた。柿からビタミン C が摂れるし、風邪をひきにくくする効果もあるため、健康にいい果物である。このレポートを通して、久留米の柿の良さを伝えたい。

参考文献

いのうえ農園「秋王」

<https://www.inoue-nouen.com/akio> (2023 年 12 月 25 日最終閲覧日)

“久留米市役所” 久留米市の農業産出額は県内 1 位です

<https://www.city.kurume.fukuoka.jp/1090sangyou/2070nourin/3170toukei/2017-0419-1102-62.html> (2023 年 12 月 22 日最終閲覧日)

久留米市農業協同組合（JAくるめ）

<https://www.ja-kurume.or.jp/nougyou/kudamono/05.html>（2023年12月25日最終閲覧日）

右田果樹園

<http://migitaorchard.com/>（2023年12月22日最終閲覧日）



写真 1. 右田果樹園の看板

2024年1月11日撮影（許可あり）



写真 2. 右田さんとの写真

2024年1月11日撮影（許可あり）



写真 3. 柿の木

2024年1月11日撮影（許可あり）